

青森市企業局交通部

青森市営バス発足 100 周年

青森市営バスの誕生

大正 15 年 3 月 6 日、篠原善次郎氏からバス 6 両と運営資金 1 万 5 千円の寄附を受け、青森市営バスが発足し、同年 4 月 11 日から運輸を開始しました。現在も毎日約 1 万 8 千人の方々に御利用いただいております。



市営バスの歴史等

昭和 20 年 7 月 28 日の青森空襲により、市営バスの車両、施設等も焼失したが、疎開してあった車両 4 両をいち早く修理し、1 年を待たずしてバス 13 両で年間約 160 万人を輸送するに至りました。昭和 32 年には職員 511 名が車両 108 両を駆使して年間 376 万余 km を運行し 1,756 万余人を輸送し、事業規模の拡大に伴い、事務所、車庫、整備工場などを建設し管理機能の集中化を進めた一方で、その後の国の高度経済政策に伴い、進行したモータリゼーションの影響による乗客の減少等で交通事業経営が悪化しました。昭和 37 年 10 月の料金の値上げにより運送収益は増加したものの、経費を補うことができず、経営が憂慮される状況となりました。

第三次経営健全化計画最終年度の平成 6 年度末で不良債権は解消されたものの、依然として厳しい見通しであったことから、自主再建策と自助努力目標額を設定し、独自の再建に取り組みました。

近年の取組

令和元年には、初めてバスを使う方や外国人観光客にも分かりやすいように、アルファベットと数字を割り当てた系統ナンバリングのほか、乗車券販売窓口でのキャッシュレス決済や地域連携 IC カード「AOPASS（アオパス）」を導入しました。

また、バスロケーションシステムの構築に向けた取組として、令和 4 年 7 月に市内の小学生を対象として GPS 車載器の製作ワークショップの開催、バス待ち環境の整備やおももりマイ時刻表の導入など、様々な利便性向上の取組を行いました。

青森市営バス発足 100 周年記念事業

令和 8 年 3 月には、100 周年を記念したセレモニーを開催するとともに、青森市の花であるハマナスの「実」をモチーフにした青森市営バス公式マスコット「はまるん」が誕生し、ラッピングバスをお披露目しました。

令和 8 年度には、

- ・こども車内アナウンス
- ・市営バス無料乗車デー
- ・バスカード交通ポイント交換キャンペーン
- ・公式マスコットグッズの販売

などの事業を予定しており、今後も、身近で親しみのある公共交通機関としての役割を果たし、次なる 100 年に向け、「市民の足」として安全・安心・快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。



〈問い合わせ〉 青森市企業局交通部管理課
電話：017-726-5441（代表）

